

# English Wind

小学校全教職員及び

中学校英語科担当教員配付

英語教育の



## 1 新学習指導要領における「学習評価」を考える ①「小学校高学年(5・6年)」I

●新学習指導要領における学習評価につきましては、次年度のカリキュラム・マネジメントを推進する中で、文部科学省から今後配布予定の『**『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(令和元年度配布予定)**』(以下、参考資料という)を参考にして、次年度の準備を進めることになります。

また、現在まで、学習評価に関する情報としては、平成31年1月の「報告書」、平成31年3月の「通知」及び令和元年6月の「ハンドブック」などがあり、これらを読むことで、新しい学習評価に関する概観と方向性を把握することができます。

- 学習評価**
- 学習評価についての現況
    - 文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程部会児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ「**児童生徒の学習評価の在り方について(報告)**」平成31年1月21日
    - 「**小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等について(通知)**」30文科初第1845号 平成31年3月29日
    - 「**学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)**」文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター(令和元年6月)
    - 「**『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料**」国立教育政策研究所(令和元年度)

学習評価の在り方ハンドブック

教師向け「学習評価の在り方ハンドブック」を国立教育政策研究所において公表

以下のような項目について、教師向けに分かりやすく説明(12頁)

- ▶ 学習評価の基本的な考え方
- ▶ 学習評価の基本構造
- ▶ 特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の評価について
- ▶ 観点別学習状況の評価について
- ▶ 学習評価の充実
- ▶ Q & A

★教科別の事例等を含めた学習評価の参考資料を作成中(本年度中に公表)

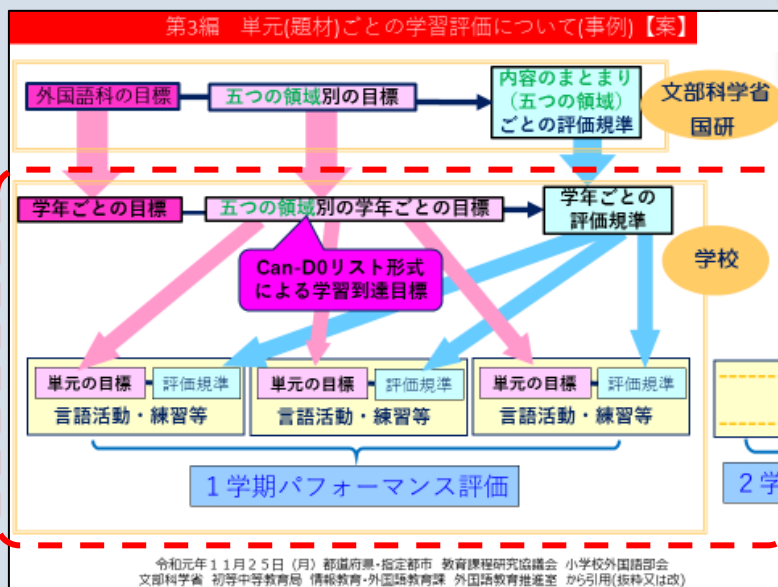
令和元年11月25日(月) 都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会  
文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

●さらに、参考資料の暫定版については、文部科学省で開催された「令和元年6月の都道府県・指定都市 指導主事連絡協議会」及び「令和元年11月の都道府県・指定都市 教育課程研究協議会」の行政説明の資料などとともに、必要に応じて、各市町村教育委員会などを通じて、周知されていると思います。



ハンドブック

今回は、この「参考資料」の暫定版などを基に、小学校における新しい学習評価の情報を一部整理します。



### ●参考資料を受け、各小学校で準備

#### まず各小学校で、何をすればいい？

「参考資料」などには、「外国語科の目標」、「五つの領域別の目標」及び「内容のまとまりごとの評価規準」が示されます。

それを受け、各小学校においては、「**学年ごとの目標**」、「**五つの領域別の学年ごとの目標**」及び「**学年ごとの評価規準**」などを整備することになります。採択教科書などを活用するのがポイントです。

※全て暫定情報です。

●「学年ごとの目標」、「五つの領域別の学年ごとの目標」及び「学年ごとの評価規準」などの整備に際して…

令和2年4月からは、小学校高学年において「教科」化されることにより、各地区で採択された検定教科書が（主たる教材として）使用されます。その**教科書など**（年間指導計画の事例、毎単元及び毎時間の指導例に関する指導書など）を**参考にする**と**イメージし易く、作業も簡便になる**ことと思います。小学校の先生方におかれましては、プログラミング教育の導入など、他の校務の推進も考慮に入れて、**教科書などを「活用」して、対応**してみてはどうでしょうか。

●5つの領域ごとの観点別評価の考え方

●学習評価は、右図のようなイメージになります。

●**単元ごとに、何を見取ればよいか？**

「5つの領域ごとの観点別評価の考え方」については、学年末に評価を総括し、指導要録に記載する際に全ての評価情報が揃っていればよく、「単元ごとに、全ての領域・観点について**「記録に残す評価」**を行う必要はありません」。ただし、各単元において、3観点をバランスよく見取ることは重要です。

5つの領域ごとの観点別評価の考え方

	指導要録に記載 (学年末)				観点別評価	評価
	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]		
知識・技能						
思考・判断・表現						
主体的に学習に取り組む態度						

学年末に評価を総括し、指導要録に記載する際に全ての評価情報が揃っていればよく、**各単元ごとに、全ての領域・観点について記録に残す評価を行う必要はない**

ただし、各単元において、3観点をバランスよく見ることは重要

令和元年11月25日(月) 都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会 文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

●学習指導要領・指導要録における「評価」の考え方

●**「記録に残す評価」って何？**

今回の「参考資料」では、「診断的評価」及び「形成的評価」とは区別して、評価規準に即して、学習状況を総括し、観点別評価を行うために残す総括的评价を**「記録に残す評価」**と名付けています。

**十分な指導を行った上で見取る**ことが大切です。

学習指導要領・指導要録における「評価」の考え方

指導要録に関して求められるのは、記録に残す総括的评价の部分

診断的評価：

学習前に、当該単元等で必要な知識等を習得しているかを確認する

形成的評価：

学習の過程において、個々の児童や学習集団全体の理解度などを確認する

**総括的评价(記録に残す評価)：**

評価規準に即して、学習状況を総括し、観点別評価を行うために残す  
※十分な指導を行った上で見取る

いずれも教師の指導、生徒の学習の改善に生かす

自己評価・相互評価

学習活動の一環として、児童生徒が自身のよい点や可能性に気付くことにより、学習意欲の向上を図るものであり、点数化して教師が行う評価に用いることなどは不適切。児童生徒が見直しを立て、振り返りを行っているかなど(自己調整)を教師が確認するための材料の一つとして活用することが考えられるが、その際には、ノートやワークシートに書かれたものだけで評価するのではなく、知識・技能や思考・判断・表現等の状況を踏まえることが必要。

令和元年11月25日(月) 都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会 文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

●**自己評価及び相互評価は？**

自己評価及び相互評価は**「学習活動の一環」**であり、点数化して教師が行う評価に用いることなどは不適切ですが、児童が見通

しを立て、振り返りを行っているかなど(自己調整)を教師が確認するための材料の1つとして活用することは考えられます。その際には、知識・技能や思考・判断・表現等の状況を踏まえることが必要です。

●これらの情報は、「参考資料」(暫定版)や文部科学省による行政説明の中の小学校についてのものですが、中学校にも共通することや参考になることがあります。さらに、小中連携の視点からも、是非お互いに共通理解を深めておきたいものです。「参考資料」(暫定版)がお手元にある場合は、各先生方で読み込むとともに、校内研修で読み合わせをするのも効果的です。今後も全面実施が迫る小学校の評価について、様々な形でお伝えしていきます。

※全て暫定情報です。